

財団法人 日本バレーボール協会 第190回全国理事会 議事録

日 時：平成18年9月22日(金) 13:00～15:00

会 場：全郵政会館 地下1階大会議室

出席者：立木会長、橋爪・飯島・中野各副会長、山岸専務理事、成田・岩満・檜山各常務理事、浅草・高橋・大久保・大塚・山本・相馬・齋藤・増本・山下・後藤各理事
紺屋・土居・中西・西脇・亀山・竹内・豊原・荒木田・月岡・倉橋・瀬戸山・小島各運営理事
江原・小比賀・岡崎各監事
〔委任〕萩原・下山・不老常務理事、南・西川理事

欠席者：森田・川合・浦野・三屋・ゼッターランド・古沢各運営理事

中 略

〔5〕国内事業本部

(檜山常務理事・国内事業本部本部長) 資料により説明。

- * 国内競技委員会…第63回国民体育大会より大会規模が縮小され第66回山口国体より9人制が休止されることになっている。これに伴い、第63回大分国体～第65回千葉国体までの出場チーム数、参加人数については資料に記載の通り。

中 略

〔7〕質疑応答

(浅草理事)

第66回国民体育大会より9人制競技が休止になることについて現在の状況とこれまでの経過を説明してほしい。

(山岸専務理事)

国体の9人制復活について日本体育協会と協議を重ねた。国体をチャンピオンスポーツにすることが前提にあり、9人制のバレーと男子の新体操は廃止に決まったとの意見だった。しかし当初大分で終了する予定だったが、終わりを千葉国体まで伸ばし、9人制の国際化と強化の実現を前提条件に再検討を依頼したが、現段階では具体的な返答はもらえていない。本会としては、東アジア大会に9人制実施の打診をする等、国際化に務め活動する。

